

平成 15 年 10 月 22 日

米沢市医師会 古川 和秀

## 1. ORCA 導入の経緯

- 1) 米沢ビジネスネットワークオフィス(BNO)による官民一体の体制が確立。
- 2) 物作りの地元 NEC とサービス会社の DIS と医師会が BNO で繋がっている。
- 3) 米沢地域は CATV が普及しておりインフラが整備された環境がある。
- 4) 地域産業のニュービジネスとしての発信基地の役割を担いたい。
- 5) 日本医師会の ORCA 事業に賛同。

## 2. ORCA 導入の準備

- 1) 既存レセコンからのデータ抽出の苦勞～レセコンメーカーの対応と費用。
- 2) 既存レセコンとの ORCA 機能の違い～カルテ用紙の頭書

## 3. 院内スタッフの協力と理解

- 1) 既存レセコンから ORCA への変更点をサービス会社とともに現場で検討。
- 2) 慣れるまでは 1～2ヶ月かかるが現状は大きな問題なくレセ提出できている。
- 3) 医療事務員も将来多種多様なメカレセコンの操作を覚えなくてよい。

## 4. ORCA を導入したメリット

- 1) 機材が省スペースで置けるようになった。
- 2) 画面が液晶ディスプレイのため見やすくなった。
- 3) 点数・法改定を気にしなくて良くなった。
- 4) 専用用紙が不要となりコピー用紙でコストが削減できた。
- 5) 山形地方公費にも対応している。(日医非公開～試用プログラム)

## 5. ORCA の将来の接続できる周辺機器

- 1) 医師が簡単に使える ORCA 対応の手書き電子カルテの開発は進行中。
- 2) 将来の磁気保険証にも対応できる ORCA は診察券の発行が不要になる。